



## ビジネスマンの流儀 ～シャツにこだわる ②

※前回343号では“自分に合ったシャツとは”についてご紹介しています。



徳武 初男 氏 (信越支部長)

長野県千曲市に本社を置きシャツ製造販売を事業とする「フレックスジャパン株式会社」で取締役、FS事業部担当役員を務める。長年シャツ業界の一線で活躍。卸部門の営業、SE、生産管理、国内外の直販などアパレル全般に幅広い知識を持つと共に、中国のビジネス事情にも精通している。地元の信州の山々をこよなく愛し、休日は山小屋で過ごす自然派の一面も。ビジネスの話題や日々の暮らしの所感を趣味のスケッチと共に綴ったブログ「里山生活」も好評。

- フレックスジャパン株式会社 <http://www.flexjapan.co.jp/>
- 直営ストア(プラトウ) <http://www.flexjapan.co.jp/store.html>
- 里山生活 <http://satoyama.naganoblog.jp/>

### ビジネスファッションをシャツで楽しむ

#### ● シャツを変えると雰囲気が変わる

長年スーツを身につけていれば、良くも悪しくも自分なりのスタイルが確立されているもの。そこから一歩踏み出すのは、ちょっと勇氣がいりますね。そんなとき、新しいチャレンジを試みるなら、ぜひシャツで変化を取り入れることをおすすめします。

なかにはスーツとシャツは定番だけど、ネクタイで個性を出している、と主張される方もいるのではないのでしょうか。でもネクタイをいろいろと変化させても、実はあまり人に与える印象は変わらないようです。むしろシャツのデザインや色にこれまでよりも気配りするだけで、全体の雰囲気を変えることもあります。またセンスのよいシャツを着ていると「あの人、ファッションに気を配っているな」といった印象を人に与えることも多くなりますよ。

ビジネスシーンに活用できるシャツはさまざまありますが、今回はその基本となる「素材」「柄」「デザイン」の3つの要素についてご紹介しましょう。

#### ● 素材で楽しむ

色つきや柄物のシャツには抵抗がある、という方はまず素材で変化をつけてみましょう。一般的な白のワイシャツは平織りの中でもブロードと呼ばれる生地ですが、同じ白でも、織柄のある生地を使ったシャツは色艶が加わって、独特の風合いを楽しむことができます。シャツの生地としては、小柄の規則正しい凹凸のある地模様のドピーククロスや、縦横2本または4本ずつ糸を引き揃えた平織りのオックスフォード(日本名は斜子織り)などが光沢もあっておすすめです。

#### ● 柄を楽しむ

柄物のシャツをスーツに合わせるのであれば、やはりストライプが定番ですね。これは好みもありますが、あまり派手なものは好きでない、落ち着いた印象にしたいというのであれば、地色を白にして、細めのストライプが入ったペンシルストライプや、さらに細かい縞模様へのアラインストライプなどがオーソドックスで、着こなしやすいといえます。

またストライプのラインの引き方だけでなく、ストライプの色によってもずいぶん印象が変わります。

白地がベースになっていれば、ストライプの色が少し派手だと思えるものでもよいと思います。スーツを着ることによって、露出部分が限られるので、お店などで手にとったときよりも実際に身につけたほうが派手な感じが抑えられるものです。一般的にスーツは黒や紺、グレーなど暗めの色合いですので、明るさや活発さを印象づける、暖色系を取り入れてみることをおすすめします。

#### ● デザインを楽しむ

ここ数年、これまでのドレスシャツとカジュアルシャツの線引きが曖昧になってきて、ビジネスの世界でもデザイン性の高いシャツがずいぶん浸透してきたように思います。

しかも自由度が広がり、ここ数年、コジャレたシャツにも人気が集まっています。たとえばボタンの色を変える、ボタンホールの色系を変える、衿とカフスの裏布を別布にするなど、ちょっとした部分にアクセントを加えたシャツが、数多く出ています。

一般的に若い人はこうしたオシャレを取り入れることが上手ですが、年齢を重ねるほどにファッションも保守的になる傾向があります。最初は抵抗があるかもしれませんが、実際に着てみると意外とじっくり馴染んでしまいます。意識を働かせて、一歩踏み出す勇気も、ファッションには必要です。



ちょっとしたアクセントに、ボタン糸とボタンホールを色系にしたものを選んでみて



上着を脱いで、ネクタイを外し、いつもの白シャツにスラックス姿では様にならないな、と思ったら、こんなシャツがおすすめです

#### ● 女性のシャツ選び



女性の方もスーツには、衿腰がシッカリとした仕立てのシャツを合わせてみては

最近は女性でもスーツ姿をよく見かけるようになりました。ビジネスシーンで活躍する女性たちにおすすめのシャツはありますか、そんな質問を受けることもあります。せっかくピシッとしたスーツを着こなすなら、ブラウスではなくメンズ仕立てのシャツを選んでほしいと思います。シャツとブラウスにはどんな違いがあるかという、シャツ屋さんを作るレディースシャツは衿腰がシッカリとした仕立てになっていることです。スーツの中にシャツの衿が入り込まず、首周りのラインがきれいに、かつこ良く見える点が大きな特長です。またメンズで先行していた機能性シャツも、女性用としても一般的になってきました。形状記憶シャツやストレッチ素材など、機能性を重視したシャツなら、家で洗えてアイロンを掛けなくてもいいので、忙しく働く女性にもおすすめです。

次回、345号では、シャツとネクタイの組み合わせとシャツのお手入れ方法についてご紹介いたします。

HUMAN HUMAN プラスは  
eふぁみり もあわせてご覧ください!

<http://jp.fujitsu.com/family/honbu/family/>